

まえがき

本報告書はアジア経済研究所で平成 17 年度に実施された新領域基礎研究「アフガニスタンおよび周辺諸国の国際関係」研究会の成果の一部として刊行されるものである。この研究会は開発途上国に関する調査研究の一環として 2 年間の予定で企画運営されている。本報告書は研究会委員による論稿集であり、『尾崎三雄アフガニスタン資料集 現地調査の記録 1935-1938 年』と共に 1 年目の中間報告として出版される。

本報告書は 9.11 以降のアフガニスタンを中心とする国際関係、アフガニスタン国境をめぐる民族問題、アフガニスタン復興協力の現状、対パキスタン関係、対イラン関係、対中央アジア関係等についての考察を行なうことを目指している。

本報告書の構成については目次に示した通りである。第 1 章で序論的に本書全体の問題意識を提示したあと第 2 章では国際政治の構造変化を概観し、第 3 章では復興協力と地域再編の現状と展望を述べた。第 4 章と第 5 章は対パキスタン関係について異なる視点から考察、第 6 章は中央アジアとの経済関係、第 7 章はイランの外交政策におけるアフガニスタンの位置を検討している。第 8 章は 19 世紀にモハンマドザーイー朝を創設したドースト・モハンマド・ハーンについての歴史的な考察である。本文中に組み込めなかった資料的な部分については一部を「資料集」にまわした。

なお本報告書の作成刊行に当っては、新領域研究センターの鈴木悦子さんに特にお世話になった。ここに記して謝意を表したい。

平成 18 年 3 月 6 日

鈴木 均

目次

まえがき	i
第1章 アフガニスタン国家の特質と対周辺国関係について・鈴木 均	1
第2章 9・11事件後のアフガニスタンの地政学的枠組み・清水 学	21
第3章 アフガニスタン復興協力と地域再編	大西 圓 43
第4章 パキスタンの対アフガニスタン関係	深町 宏樹 73
第5章 パキスタンの「ターリバーン化」	
- アフガニスタン安定化への足枷 -	柴田 和重 87
第6章 アフガニスタン復興と中央アジア	
- 経済的側面からの考察 -	岡田 晃枝 117
第7章 イランの外交政策形成とアフガニスタン問題の	
位置づけ	田中 浩一郎 131
第8章 ドースト・モハンマド・ハーン・モハンマドザイーと	
その生涯	小牧 昌平 147
資料集	157